

生徒指導だより NO. 13

令和3年2月1日

2月の生活目標～目標をもって生活しよう～

新年も早いものでもう1ヵ月が過ぎました。緊急事態宣言が出され、コロナウイルス対策を行いつつも、西方中学校は無事に学校生活を送ることができています。これは非常に素晴らしいことです。3年生は受検、そして卒業までのカウントダウンが始まっています。休校等にならず、1日1日西方中学生が成長できる日々であってほしいと願う今日です。

ところで、皆さんは新年になったときに立てた目標はどうでしょうか？達成できているでしょうか。今月の生活目標は「目標をもって生活しよう」ですので、今回は目標についての話をしたいと思います。

自分の「たい」を釣れ



これは以前一緒に仕事をした先生が、西方中の先輩に話していたものです。

魚の「鯛」ではありません。心の「たい」を釣るということです。何事も目標を達成しようとするには、自分の「こうしたい」が無ければ、人は行動できないものです。つまり、「たい」は自分のエネルギーなのです。「自分はこうなりたい」「こんなことをやってみたい」「西方中をこんな学校にしたい」... 様々な「たい」があると思います。皆さんの中にはどんな「たい」が泳いでいるでしょう。ぜひその「たい」を見つけ、自分で釣り上げてほしいと思います。

ぜひ、在校生の皆さんも自分の「たい」を釣り上げてみましょう。

もう1つ、皆さんはこんなニュースをご存じでしょうか？

京ア二放火事件で疑問感じた中学生が発明...

緊急時に室内から外せる窓の格子柵 「建設業界にまず無い発想」

岐阜県中津川市に、世界的な発明展で銀賞に輝いた中学3年生がいます。発明品は、火災などの際に室内から外せる機能を付けた、住宅の窓に取り付ける防犯用の「格子の柵」です。大人も驚く斬新な発想で、様々な発明品を作る原動力は、困っている人を助けたいという思いでした。

一見、どこにでもありそうな格子柵。しかしこれが、10月に開催された世界各国の青少年の発想や創造性を競う「世界青少年発明工夫展」で銀賞に輝きました。発明したのは、岐阜県中津川市の中学3年の稲垣龍樹さん(15)です。コンクールに推薦した団体や県によると、中学生が社会性の高い問題に取り組んだこと、盗難対策と避難対策の観点から安全性・防犯性、2つを兼ね備えたこと、それにクランプを取り入れた構造が評価されたといいます。プロも驚くこの龍樹君の発明品。その発案は、1年前の京都アニメーションの放火事件にありました。龍樹さん：「窓から逃げようとした人が、防犯用の格子柵に阻まれて逃げ出せないことが...。『なぜ、命を守るための防犯用の格子柵が、逆に命を奪う形になっているんだろう』と。命を守るためのものが、逆に命を奪う...その疑問を突き詰めた結果、この格子柵が生まれました。

龍樹さん：「どんな小さな案でも広げていけば、必ず世の中の役に立つようなものができるので。困っている人のため」若き発明家は困っている人を助けるため、これからも発明を続けます。

参照：「東海テレビ」1月9日（土）より

一部引用：https://news.yahoo.co.jp/articles/b42a60d3814a50c7587d87a1ee8209cb9c063e18

右が稲垣さんの発明した格子窓です。専門家でも考えなかったものを発明できたのは、稲垣さんが思いに対して、具体的な目標を立て、地道に努力を続けいった結果なのだと思います。

同じ中学生として、西方中生も、何か目標を定めたり、日常生活の課題を解決するために行動を起こせるようになってほしいと思います。



「校長先生のプレゼント～いただいた本の内容から～」

先日、西方中の先生方に一冊ずつ、校長先生が本をプレゼントしていただきました。題名は、「あなたの人生が変わる奇跡の授業」です。学校生活に関係する、そして社会に出たときに「幸せになるため」の考え方を紹介した内容です。その冒頭に「じんざい」についての話があります。

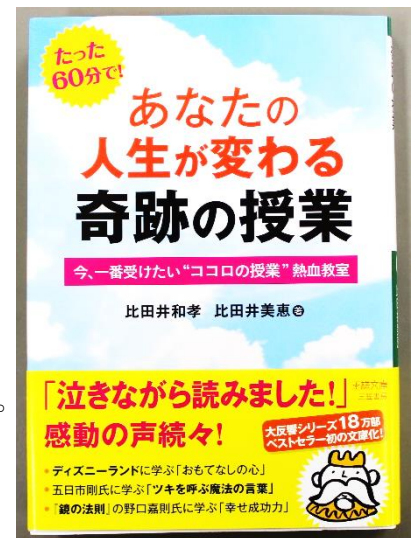
「じんざい」には4つの意味があるそうです。

- ①「人罪」…迷惑をかける人。トラブルを起こす。悪口を言う。
- ②「人在」…ただそこに存在している人。
- ③「人材」…技術や知識はあるが、もしいなくなっても、他の人で補える人。
- ④「人財」…その人にしかない価値を有する人。財産になる人。

よく使われているのは③ですが、どの「じんざい」が良いかというと④ですね。「人財」になることが自分も周囲も幸せにするとのことです。

筆者は、この本の中で「人間性」を磨くことが「人財」になるポイントだと述べています。「自分で自分を変えるきっかけをつくっていくこと」、そのためには目標をもって生活していくこと、そしてそれを積み重ねることが重要です。

いくつかのクラスは、担任の先生からすでに話を紹介されたことがあるようです。西方中生として、「人財」になれるような生活ができるよう、2月は目標をもって生活してほしいと思います。



最後に～最近感動したこと～

余談ですが、最近感動したことを紹介します。支援員として今年度西方中に来ている大阿久先生の話です。

大阿久先生は西方中の卒業生で、現在大学4年生です。大学に通いながら、授業のない日は西方中に来て、支援員として生徒の皆さんの学習の手助けを行っています。

その大阿久先生は、朝学校来ると、誰に言われるまでもなく、1階の昇降口から廊下を黙々と清掃しているのです。「時間があるので、掃除をしておけば、気持ちよく過ごせますよね。」とさりりと言う大阿久先生。簡単なようですが、誰にでもできるわけではないこういった心がけに、頭が下がる思いがしました。

4月からは、新卒の先生として、新しい学校で本格的に勤務される大阿久先生。先生として活躍される姿が目に見えそうです。西方中の先輩は素晴らしいですね。大阿久先生の今後の活躍を期待しています。

